

< 2026年3月期 第2四半期連結決算 参考資料 >

金額：億円、台数：千台、比率：％

	前期実績 2025年3月期 第2四半期累計期間 (2024. 4. 1-2024. 9. 30)	当期実績 2026年3月期 第2四半期累計期間 (2025. 4. 1 — 2025. 9. 30)			前期実績 2025年3月期 通期 (2024. 4. 1-2025. 3. 31)	当期予想（前回予想から不変） 2026年3月期 通期 (2025. 4. 1 — 2026. 3. 31)		
			増減	増減率			増減	増減率
売上収益	22,662	23,857	1,195	5.3	46,858	45,800	-1,058	-2.3
日本	3,122	3,344	222	7.1	6,514	-	-	-
海外	19,540	20,513	973	5.0	40,344	-	-	-
営業利益	2,220	1,027	-1,193	-53.8	4,053	2,000	-2,053	-50.7
利益率	9.8	4.3			8.6	4.4		
税引前利益*1	2,210	1,295	-915	-41.4	4,485	2,300	-2,185	-48.7
利益率	9.8	5.4			9.6	5.0		
親会社の所有者に帰属する 当期利益*2	1,630	904	-726	-44.5	3,381	1,600	-1,781	-52.7
利益率	7.2	3.8			7.2	3.5		
営業利益増減要因		事業環境変化 モノづくり活動 販売活動 原価低減活動 その他	-1,932 -160 837 74 -12			米国追加関税影響 為替影響 原材料・市況 台数差 挽回策	-2,100 -750 -240 -220 1,257	
為替レート	154円／US\$ 164円／EURO	146円／US\$ 165円／EURO			152円／US\$ 162円／EURO	145円／US\$ 155円／EURO		
設備投資	823	754			1,761	2,500		
減価償却費	476	473			968	1,000		
研究開発支出*3	687	740			1,600	1,600		
有利子負債残高	4,005	4,130			3,995	-		
業績評価		・5期連続の増収 ・5期振りの営業利益、当期利益減益 ・2期連続の税引き前利益減益 ・2期振りの連結販売台数増				・2期連続の減収 ・2期連続の各利益減益 ・2期連続の連結販売台数減		
日本販売台数合計	50	52	2	4.5	104	110	6	5.6
登録車	44	45	1	2.7	91	-	-	-
軽自動車	6	7	1	16.8	13	-	-	-
海外販売台数合計	400	421	21	5.3	832	810	-22	-2.7
北米	352	373	21	5.9	732	725	-7	-0.9
欧州	9	10	1	11.4	23			
中国	1	1	-0	-0.1	3	85	-16	-15.6
その他	37	36	-1	-2.4	75			
連結販売台数総計	450	473	23	5.2	936	920	-16	-1.8
生産台数合計	475	453	-22	-4.7	946	900	-46	-4.9
日本	298	277	-21	-6.9	602	-	-	-
米国	177	176	-2	-1.0	345	-	-	-
売上収益 事業別	自動車 22,090 航空宇宙 545 その他 26	23,235 595 26	1,145 50 0	5.2 9.2 0.3	45,690 1,116 51			
営業利益 事業別	自動車 2,216 航空宇宙 -26 その他 28	973 20 31	-1,243 46 3	-56.1 - 10.7	4,204 -196 37			
消去・全社	3	3	1	27.8	9			

*1. 四半期においては、「税引前四半期利益」を示す。なお、第2四半期（中間期）においては、「税引前中間利益」を示す。

*2. 四半期においては、「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を示す。なお、第2四半期（中間期）においては、「親会社の所有者に帰属する中間利益」を示す。

*3. 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額。IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なる。

注1. 連結販売台数は、国内連結対象販社の小売、海外連結対象販売統括会社の卸売、非連結対象会社に対するSUBARUの出荷などの合計値。

注2. 日本生産台数にはトヨタ向けGR86の台数を含む。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる可能性があります。